

3 教育に関する学識経験者の意見

1 意見提出者

教育委員会が行った点検・評価の結果に関して、次の2人の方から意見や助言をいただきました。

岩田 博明（元江別市立江別第三中学校校長）

藤田 昌之（江別市社会教育委員）

2 意見及び助言

第6次総合計画の取り組み状況をもとに、今年度は、子どもの教育の充実に関わる事業と生涯学習の充実に関わる事業について点検・評価をさせていただきました。今回の評価の作業では、教育委員会の業務は、いろいろな事業が多岐にわたることを感じたところです。特色を生かした事業としては、知的資源を有する4大学と連携した事業があることが江別市の強みだということが分かりました。特に教育につながる事業というのは、なかなかすぐに答えや結果が出ないものが多いと思います。そのため、ある程度、長い期間で結果を見ることも必要ではないかと思料いたします。

今回は補助事業や指定管理制度を活用した事業を中心に評価作業を行いました。特に江別市の教育行政が子どもたちへの支援、家庭に対する支援、各種団体に対する支援、高齢者に関わる支援と様々な事業が幅広く展開されていると改めて感じました。

全国的にも少子高齢化が進み、江別市もその例外ではなく全国同様の傾向が進み、平均寿命がどんどん延びていますが、健康寿命という意味では、そこまで延びていないと思います。健康寿命を延ばすためには、特に高齢者に対するいろいろな知的活動、あるいは、身体的な活動の充実が欠かせず、健康的に安心して暮らせることが、広い意味では高齢者に係る医療費や介護費の予算削減につながると思います。

今後におきましても、教育行政の推進には保護者や地域の方々との連携・協力が不可欠であることから、江別市教育委員会の事務事業を知ってもらうことは大変重要なことと考えますので、様々な機会を通じて、より一層、分かりやすい情報発信に努めていただくことを期待いたします。

以下、それぞれの基本事業に着目しながら、意見等を申し上げます。

【子どもの教育の充実】

- ・ コミュニティ・スクール事業は、地域住民・家庭・学校が協力することで成り立つものだと思っております。各学校の地域住民・家庭から参加している学校運営委員の方もとても学校に協力的と聞いております。

そして、学校運営委員の方が学校に対して、どのようなことができるかということをしっかり考えている方が多く、このような視点は物すごく大切だと思いますし、今後、ますます発展していくことを期待します。

- 地域一体型学校の顔づくり事業は、地域のイベントや学校を見てもらう機会などに活用されており、例えば、通学路を花で飾ることや、部活動の一環で吹奏楽部の生徒が地域のお祭りで演奏するといった形で地域と一緒に教育をつくっていかうという大変重要な事業だと思います。

地域にはいろいろな人材が眠っていると思いますので、このような地域とつながりの中で地域住民が気軽に学校へ来て、学校行事に参加してもらえるような環境になれば、もっと地域とのつながりも深まると思います。
- 学校施設整備事業（大規模改造）は、子どもたちにとって良い環境で勉強させるためには大切な事業だと思います。今年の夏、学校を訪問する機会があり、昔はなかった扇風機が各教室に設置されていて驚きました。扇風機は、熱中症対策や新型コロナウイルス対策を取るうえで、大変有効だと思います。

また、トイレは、子どもたちが1日に何度も使用する場所ですが、学校によって差があるので、予算に制約がありますがトイレの環境をより良くすることができればと考えます。
- 地域体験活動事業は、自然体験活動「ツリーイング」及び生活体験活動「1泊2日の宿泊学習」といった非日常体験を子どもたちに提供する大変人気のある事業と聞いています。学力だけでは測れない感性や意欲、忍耐力を養い、そして、他校の異学年の児童と関わることで、子どもたちの成長につながることを推察できる事業ですので、一人でも多くの児童が参加できることを望みます。
- 発明教室開設事業は、主に教員を退職した先生方の指導の中で、遊びながら科学や工作について学べるということのほか、異学年との交流もあり、子どもの教育にとっても良い事業だと考えております。また、参加者も多数いる素晴らしい事業ですので、続けていきたいと思っております。
- 青少年キャンプ村事業は、50年以上行われている伝統的な行事で、ボランティアサークルは高校生と大学生がメンバーとのことです。サークルでは特に高校生が中心となって頑張っていて、その高校生を大学生がフォローするという体制も素晴らしいと感じます。参加している小中学生に貴重な体験活動を提供するだけでなく、サークル会員本人にとっても高校生や大学生の時にこういった活動を経験することで今後、別な活動でも積極的に参加しやすくなると思いますので、是非、充実することを望みます。
- 成人式開催事業は、参加率があがらないことについて、担当課では、肯定的な評価をしていないのですが、新成人で構成する実行委員会により「成人のつどい」を企画し、大きな問題もなく開催ができていたのは、大変素晴らしいことです。

近年のSNSが普及している中で、参加人数や参加率が微減で推移していることは、創意工夫の中、行われていると評価できます。
- 青少年文化賞顕彰事業は、子どもたちの目がスポーツ寄りになりがちなか中で、スポーツと同様、文化活動についても活躍に対して成果をたたえる場面があることは大切だと思いますので、より一層、充実することを望みます。

【生涯学習の充実】

- ・ 公民館管理運営事業やコミュニティセンター管理運営事業は、指定管理者等が事業を行うことで施設管理の経費を抑制する効果があることや、民間の能力やノウハウを取り入れることで、施設利用者へのサービス向上につながることを知ることができました。
江別市には各地区に公民館やコミュニティセンターなどのホールがあることから、それらを生かした事業や、活動が行われることを期待します。
- ・ 蒼樹大学事業は、高齢者一人ひとりが生きがいを見い出し、地域社会で生かすことのできる知識や技術を獲得でき、身体的な健康面はもちろん、知的にも健康であるために必要な事業だと思います。
このような高齢者が学ぶことができる環境を提供することは大変良いことと考えるので、これからも充実されることを望みます。
- ・ えべつ市民カレッジ（四大学等連携生涯学習講座）事業は、4つの大学が協力して様々な講義を用意して、対象年齢関係なく参加できるとても良い取り組みだと思います。
また、新型コロナウイルスの影響もあってインターネットを使った講義も増えていると聞いております。インターネットを利用することで、今まで、時間的に受けられなかった市民が少ない空き時間を利用して気楽に参加できるようにするなど、工夫されることを期待します。
- ・ 青少年ふれあい交流促進事業は、社会教育の振興及び地域活動団体の育成・促進を目的として活動する市内の団体などが学校や地域と連携して自主的に企画・運営する事業についての費用の一部を支援する内容ですが、上限が8万円と決して多くはないものの、各団体等の負担軽減につながっていると考えられます。
一方で、申請手続きに関しては、手続きがもう少し簡素化されるともっと利用しやすくなると考えられることから、今後の工夫を望みます。